

わたしの

あゆみち 歩んだ道 ばあつふみ 馬場 淳史 さん



〈プロフィール〉

津軽三味線奏者。市内在住。17歳から津軽三味線を始め、2年後の2007年津軽三味線コンクール一般の部で優勝。その後も数多くの賞を受賞。演奏活動はもちろん、教室での指導でも活躍中。

津軽三味線との出会い

子どものころは、音楽は学校の授業でやる程度で、どちらかといつと体を動かす方が好きでした。野球やバスケットボールなど、いろいろなスポーツを何でもやる活発な子どもでした。津軽三味線を始めたきっかけは、十七歳のときに、母に誘われてコンサートに行ったこと。実は嫌々ついて行ったのですが、迫力ある音と曲調に感動し、自分もやってみたくて思いつく、すぐに教室に入りました。

こども広報春日井 平成25年冬号 (12月発行)

津軽三味線の魅力

楽器はどんなものでも、演奏する人の性格によって音が変わります。特に津軽三味線は、弦を押さえる位置やばちの叩き方で音に違いが出て個性が表れます。

津軽三味線の曲は、ある程度リズムと使う音は決まっていますが、フレーズは自由なので、演奏すると一人一人オリジナルの曲ができていくところが魅力です。

毎日練習、常に勉強

二年目から大会にも出るようになり、

毎日練習を重ね、初めて入賞したときは本当にうれしかったです。

楽器はやはり練習が大切です。常に練習が欠かせませんが、それとても楽しいです。

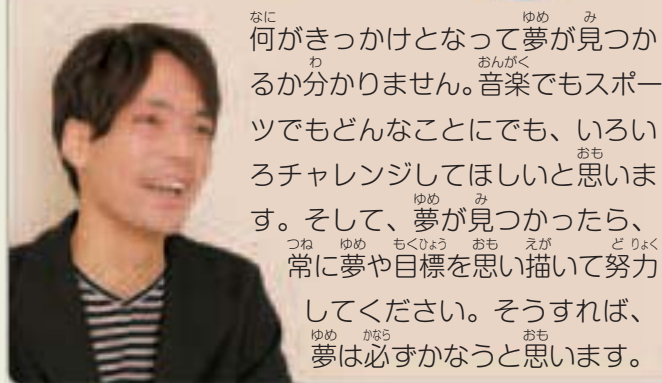
また、最近は津軽三味線がメインでステージに立つことも多いのですが、歌い手がいて、その後ろで伴奏するのが本来の形。歌い手に合わせて演奏するのは大変難しいので、CDを聴くなどして常に勉強しています。

皆さんに楽しさを伝えたい

津軽三味線を生で聴く機会はまだまだ



ゆめ 夢をかなえるために



何がきっかけとなって夢が見つかるかわかりません。音楽でもスポーツでもどんなことにでも、いろいろチャレンジしてほしいと思います。そして、夢が見つかったら、常に夢や目標を思い描いて努力してください。そうすれば、夢は必ずかなうと思います。

だ少ないと思うので、多くの人に聴いてもらえるよう演奏を中心に活動を広げていきたい。特に、小中学生の皆さんには、今のうちに一度は聴いてもらいたいですね。

また、実際に津軽三味線に触れ、楽しさや魅力を多くの人に知ってもらいたいとの思いから、最近では教室での指導にも力を入れています。教室には小学生から七十歳くらいの方まで、幅広い年齢層の皆さんが通っています。今後、一人でも多くの人に津軽三味線の魅力あふれる世界を感じてもらえるよう、活動を続けていきます。